

会員各位

兵庫県理学療法士学会の今後について

一般社団法人 兵庫県理学療法士会 副会長
学会運営審議会 議長
間瀬教史

平素は士会活動にご理解とご協力いただき感謝いたします。

兵庫県理学療法士学会（以下、県学会）は、来年度、田原大会長（大会テーマ Roots～臨床重視への回帰～）のもと行われる大会で 32 回をむかえます。県学会が始まって以後、県学会を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。会員数は数百名から約 5500 名に増加し、開催運営主体となっていていただいている各支部（当時はブロック）の役割も大きく変わってきています。また、新型コロナウイルスへの対応もふくめ、県学会に求められる内容も変わってきているように思います。

県学会が始まった当時、各支部は地域の研修、会員交流が主な仕事でした。その後、新人発表会の開催、理学療法啓発、スポーツ活動支援、職能関連事業など、さまざまな事業が支部で行われるようになっております。今後も市町や地域の医療関係団体との連携など支部の役割は増すばかりです。

また、県学会開始当時、理学療法士の参加できる医学会は比較的限られており、理学療法士関連も全国的には日本理学療法士学会が主なものでした。そのため、近畿理学療法学会大会、各都道府県学会の役割は非常に重要なものがありました。しかし、現在、理学療法士の参加できる医学会は非常に多くなっており、分科学会の発展もあり、県学会の役割も変わりつつあります。現在の県学会は、運営に携わる会員の負担軽減のための対策（学会運営部が担当）がなされ、その運営はスムーズになっています。しかし、参加者は 1000 名近い時もありましたが、全体的には 500 から 700 名の参加者にとどまっています。これらの変化に対応するため、および、県学会が会員にとってより良い学術活動、研鑽の場であるよう、県学会の改革が必要であると考えています。

さらに、新型コロナウイルスへの対応も非常に重要と考えております。その対応として第 32 回大会は web 開催が検討されております。今後の大会も感染症への対策を適切に行いながらの運営が求められます。会員の方々がより安全に、参加しやすい大会を考えていく必要があります。

現在、兵庫県理学療法士会では学会運営審議会を立ち上げ、県学会の改革に取り組んでいます。学会改革の主な内容は、学会長の公募による選出、および、士会員へのアンケート調査（どのような開催方法で、どのような企画があれば学会に参加したいかなど）、および、各分野の有識者（学会運営審議委員）の意見を踏まえて、大会の企画・運営の参考とすることです。

大会長の公募スケジュールは以下の表のように行います。また、公募時の手続きの詳細は、今後、士会ホームページで広報いたします。大会長に立候補する会員は、次に掲げる事項を記載した立候補届を指定された期日までに書面にて提出していただくことになります。

- ① 氏名
- ② 所属ならびに役職
- ③ 所属先住所
- ④ 生年月日
- ⑤ 士会の役職歴（理事、代議員、各部長委員長、委員等など）
- ⑥ 開催予定地(都市名)
- ⑦ 推薦者（士会役員および代議員、学会運営審議会役員、支部運営審議会役員に限る）
- ⑧ 学術大会開催計画(計画概要・抱負等) 200 字程度

大会開催に意欲のある会員の方々によく立候補いただき、士会組織と連携していただきながら、より良い学術大会を開催していただければと考えております。

ご理解とご協力をお願いいたします。

年度	兵庫県理学療法学術大会スケジュール	大会長決定スケジュール
2020年	延期	
2021年	第32回兵庫県理学療法学術大会 学会長 田原将之 担当阪神北支部	第34回兵庫県理学療法学術大会大会長 公募（4月から7月）
2022年	第33回兵庫県理学療法学術大会 学会長 畑山浩志 担当淡路支部	第35回兵庫県理学療法学術大会大会長 公募（4月から7月）
2023年	第34回兵庫県理学療法学術大会	第36回兵庫県理学療法学術大会大会長 公募（4月から7月）
2024年	第35回兵庫県理学療法学術大会	